



申22号

2022年度賃金引き上げ等

満額回答を求めろ！

第2回団体交渉を行う！①



2022年3月9日、中央本部は申22号第2回交渉を行いました。交渉には、**6日間で約7500件**もの組合員・社友会・未加入者の声が寄せられました。多くの仲間の声を届けて頂き感謝を申し上げます！**本部交渉団は仲間の声を基に満額回答を会社に求めました！**

交渉の最後に述べたJR東労組の問題意識（要旨）

- 会社のスタンスは、有利子負債を理由に、生涯賃金が減額されている現状を甘んじて受け入れることを求めているのか。会社の現状認識に強く問題意識を持たざるを得ない。
- 労働組合として雇用と利益を守るために企業の発展を目指すというスタンスは変わらない。会社は私たちの労働力なしに、持続的な成長を実現できない。従って、賃上げを行うべきだ。会社の負債も増えるということだが、会社はこれまで積み上げてきた純資産があるではないか。
- 職場の努力については、「社員 1 人ひとりの奮闘に感謝」「環境を整える」「賃金が労働条件の最たるもの」と一致している。このことを踏まえて、要求を満額回答で応えるべきだ。世代交代が喫緊の課題の中で人材流出を防ぎ、安全が第一で収益を確保し、経営を持続するためには労働条件の最たる賃金、この賃上げが必須だ。
- 物価の上昇については、「会社として承知している」「要素の 1 つ」と回答があった。生計費については、収入が減少しており、将来的にも減額されている中、会社と現場との認識の乖離がある。
- 昨年の定期昇給カットへの回答に対する強い問題意識や年功賃金型を維持すべきとの趣旨から、協約に基づき定期昇給を実施して、その場合の昇給係数が4として定期昇給の完全実施を求めている。
- コロナ禍の状況においても、賃金維持分を確保し、モチベーションを維持し、向上させること、そして別途、昨年の定期昇給カット分の支給を求めているが、職場から強く要求されている項目である。
- 早期合意ということについては回答次第である。
- 17 日を回答指定日としている。精力的な議論、そして検討をすべきであり、安全第一で経営を支えている組合員・社員を第一として、そしてその家族の声を、経営陣に真摯に受け止めていただき、7 項目の要求満額での回答を強く求める。

交渉の最後に回答された会社の問題意識（要旨）

- 社員の皆さんは、新型コロナウイルス感染症への対策等、様々な努力や取り組みをされ、日々の安全・安定輸送、サービス品質向上に取り組んで頂いている。その上で様々な取り組みをして頂いていることに感謝を申し述べる。
- 新賃金の議論にあたっての基本的なスタンスは、長期にわたる総額人件費に多大な影響を及ぼすということを考え、足元の状況と中長期的な動向を慎重に勘案し議論する必要がある。その様なスタンスを踏まえて考えると、今回いただいている要求に関して、極めて慎重に判断しなければいけない。
- そのような中で貴側の現状に対する考え方や、いただいた声は受け止める。
- 我々もこの間、コロナの厳しい状況も踏まえて、これから大きな施策等が控えている中で、社員の声を様々な形で丹念に拾い上げてきている。この間、貴側とは様々な議論してきたが、施策一つとってもスケジュール感を持って進めてきていただいていると認識している。
- 早期合意を目指して、スケジュール感を持ちつつ、しっかり回答日目指して判断をしていきたい。



組合員の声を受けとめると回答するも、

21春闘のスタンスと変わっていない！

回答指定日は17日！満額回答を求め、たたかいを強化しよう！